

としょかんゆうびん

低学年向け 令和4年 冬
相生市立図書館 0791-23-5151

1・2・3月のこどもげきじょう&カレンダー

■ おやすみ

開館時間・・・あさ9時～よる7時

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*

1/22 (日) 11:00～11:30

おはなし会

絵本『てぶくろ』

おはなし「うさぎとひきのもち争い」

1/29 (日) 11:00～11:30

人形劇

「おおきなかぶ」



2月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	*	*	*	*

2/11 (土) 11:00～11:30

トーンチャイム

「はるよ こい♪コンサート」

2/26 (日) 11:00～11:30

おはなし会

絵本『おおきなかぶ』

おはなし「こぶじいさま」



3月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	*

3/12 (日) 11:00～11:30

おんがくかい

「♪みんなでうたおう♪ハッピーコンサート」

3/19 (日) 10:30～11:30

えいが会

「三匹のこぶた」

3/26 (日) 11:00～11:30

おはなし会

絵本『かもさんおとおり』

おはなし「大工と鬼六」



2023年も

よろしくおねがいいたします

としょかんは、1月4日から かいかんしています。
今年も、家族やお友だちとたくさん本をよもう！

～まめちしき～

2023年の干支は・・・うさぎ(卯)ですね。

うさぎのかぞえかたを知っていますか？

ほかのどうぶつは「〇ひき」ですが、うさぎは

「1わ、2わ…」とかぞえるんです。

『数え方のえほん』

高野 紀子//作 あすなろ書房 81



おねがい

- ・体調の悪い人は、行事に参加できません。
- ・図書館に来るときは、検温、手指の消毒、マスクの着用をお願いします。

おすすめのほん

『そーっとそーっとひらいてみよう』

ニック ブロムリー//文 ニコラ オバーン//絵 かとう りつこ//訳 WAVE 出版 P-7



うらがわに、大きなあながあいてしまったえほん。だれかにやぶられたみたい。どうしてこんなことになったのでしょうか。勇気をだして、ひらいてみると…。なんととつぜん、わるいワニが入りこんできた！ワニがあばれまわるので、えほんの中はぐちゃぐちゃです。このえほんの本当の主人公であるあひるのこといっしょに、ワニをおい出そう！

『三びきのコブタのほんとうの話』

ジョン シェスカ//文 レイン スミス//絵 いくしま さちこ//訳 岩波書店 P-7

『三びきのこぶた』といえば、こぶたがわるいオオカミに家をふきとばされ、食べられてしまうおはなしですね。でも、ほんとうはそうじゃない？これは、オオカミから見た『三びきのこぶた』。オオカミは「おれがわるいオオカミだってのはまったくのうそっぱちさ」と言います。いったいどういうこと？オオカミのことを信じられる人は、話をきいてみて。

十二支ってなあに？

『十二支えほん』 谷山 彩子//作 あすなろ書房 38

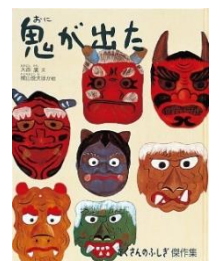


あなたは「十二支」のどうぶつ、すべて言えますか？十二支といえば、どうぶつたちがきょうそうをするおはなしでしょ？とみんな思うはず。でもなぜ、「十二」なのでしょう。おしるにきたどうぶつが、たまたま12だったから？いいえ、じつは…。

こんなおに、あんなおに

『鬼が出た』 大西 広//文 梶山 俊夫//ほか絵 福音館書店 38

2月のはじめは「節分」。わるいおにをおい出すため、豆まきをする日ですね。「おに」といえば、「わるもの」と思いますよね。でも、だれも本物を見たことはありません。いったいどんなすがたなのでしょう？じつは、わたしたちのすぐ近くにたくさんかくれているのかも。



たのしいひなまつり

『ひなにんぎょうができるまで』 ひさかたチャイルド 75



3月3日はひなまつり。ひなにんぎょうってとってもきれいですよね。
かお、からだ、着物も、だれがどんなふうにつくっているのでしょうか？
職人さんたちのこだわりが詰まった写真えほんです。
おうちにひなにんぎょうがあったら、じっくり見てみてね。
男の子にもおすすめです！

まだまだあるよ！おすすめのほん

『ジョニーのかたやきパン』

ルース ソーヤー//文 ロバート マックロスキー//絵 こみや ゆう//訳 岩波書店 P-7

むかし、とんがりやまのまるたごやに、おじいさんとおばあさん、それからジョニーという男の子がすんでいました。ある日ジョニーは、食べるものがなくなり家を出ることになりました。おばあさんはジョニーのために、かたやきパンを作りました。ところがパンはジョニーのかばんからとびだして、どんどん坂道をころがっていくのです。
牛やひつじ、ぶたやめんどりもいっしょに、みんなでおいかけていくと…。



『ねずみとおうさま』

コロマ神父//ぶん 石井 桃子//やく 土方 重巳//え 岩波書店 P-1 (小型絵本)

むかし、スペインという国に子どもの王さまがいました。王さまは人々からとてもしたわられていました。
あるばん、王さまがねむっているところに、ペレスというねずみがあらわれました。王さまはペレスのまほうで小さなねずみにへんしん。ペレスとふたりで外へとびだします。

『あなのはなし』 ミラン マラリーク//さく 間崎 ルリ子//やく 二見 正直//え あな 偕成社 P-7

あるところに、あなのあいたくつしたがありました。あなはしだいに大きくなり、なんと、くつしたをのみこんでしまいました。手足がはえてうごけるようになったあなは、たびに出ました。とちゅうで出会ったドーナツ、カエル、ツバメ、ひつじといっしょに小屋のなかでねむっていると、オオカミがやってきて…。どうなる、あなたたち！

『こぶたのレーズン』

バーリント アーグネシュ//さく ブローディ ベラ//え うちかわ かずみ//やく 偕成社 99-7

こびとのマノーがすむカボチャの家に、小さな小さなこぶたがやってきました。こぶたは、ひどくおなかがすいていました。マノーはしかたなく、こぶたにトウモロコシ・パイをあげました。心やさしいマノーは、こぶたをカボチャの家にむかえました。かえるばしょがなかったこぶたは、鼻をならして大よろこび。そして、こびととこぶたのおかしな生活がはじまります。シリーズ『こぶたのレーズンとおともだち』もよんでみてね。

『スタンプにきた手紙』

エミリー ロッタ//作 さくま ゆみこ//訳 たしろ ちさと//絵 あすなろ書房 93-口

「チュウチュウ通りのゆかいななかまたち」のさいごのおはなしです。ネコイラン町・チュウチュウ通りの10番地にすむスタンプは、ゆうびんやさんです。毎日、町のみんなにたくさんの手紙をくばっているスタンプですが、自分あての手紙がひとつもありません。さみしく思ったスタンプは、しんぶんにメッセージを出します。すると…どうなったとおもう？

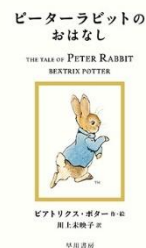


ずっと愛されるめいさく

『ピーターラビットのおはなし』

ビアトリクス ポター//作 絵 川上 未映子//訳 早川書房 P-ホ (シリーズの本)

むかし、大きなもみの木のしたにおかあさんうさぎと4ひきの子うさぎがいました。なかでも4ばんめのピーターは、とんでもないいたずらっ子でした。「マクレガーさんの畑にはいかないこと」というおかあさんとのやくそくをやぶって野菜を食べほうだい。ところが、マクレガーさんに見つかってしまい、ピーターは大あわて。だいじな畑をあらされたマクレガーさんはかんかんです。ピーター、にげきれるかな？



『プーのはちみつとり』

A.A.ミルン//ぶん E.H.シェパード//え 石井 桃子//やく 岩波書店 93-ミ

クリストファー・ロビンのぬいぐるみ、クマのプーさん。とってもくいしんぼうなプーさんは大きな木の下で、ミツバチがブンブンとびまわる音をききながら、はちみつのじょうずなとりかたをかんがえます。木にのぼってとろうとすると、あと少しのところでおちてしまいました。はちみつのために、一生けんめいなプーさんがなんともかわいらしいおはなしです。

